

PC・スマホ・ネット用語の基礎知識 ～最近のカタカナ用語が登場します～

カタカナ用語	解説
① ウェアラブル コンピュータ	wearable computer（ウェアラブル コンピュータ）小型の携帯型コンピュータの一種で、体に身につけて持ち運び、そのままの状態で使用できるもの。単に小さく軽いというだけでなく、身体や衣服など身につけるもののどこかに固定して使用することを前提とし、ゲーム機やスマートフォンのように手で持って操作する機器は含まない。
② AI (エーアイ)	Artificial Intelligence（アーティフィシャル インテリジェンス）人工知能。人間にしかできなかったような高度で知的な作業や判断を、コンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにしたもの。チェスや将棋など知的な対局ゲームなどがよく知られる。
③ IOT (アイオーティー)	Internet of Things（インターネット オブ シングス）モノのインターネット。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。
④ AR (エーアール)	Augmented Reality（オーグメンテッド リアリティ）拡張現実。現実の世界の一部に仮想世界を反映させる技術のこと。CG（コンピュータグラフィックス）でつくられた 3D 映像やキャラクターなどを現実の風景と重ねて投影することで、まるで現実の世界に CG キャラクターが現れたような体験ができる。ゲームアプリ「ポケモン GO」や、自撮りの顔に動物の耳や鼻などの CG を重ねて表示するカメラアプリ「スノーSNOW」は AR の代表的な例。
⑤ MR (エムアール)	Mixed Reality（ミックスド リアリティ）複合現実 現実世界と仮想世界をより密接に融合させ、バーチャルな世界をよりリアルに感じることができる技術。AR 技術を使った「ポケモン GO」ではポケモンに近づくことはできない。しかし MR（複合現実）ならカメラやセンサーを駆使し、それぞれの位置情報などを細かく算出し、キャラクターに近づいて自由な角度から見たり、目の前の空間にさまざまな情報を 3D で表示させ、そこにタッチし入力をすることも可能である。
⑥ VR (ブイアール)	Virtual Reality（バーチャル リアリティ）仮想現実。現実ではないが、現実のように感じさせる仮想世界に現実の人間の動きを反映させる技術のこと。専用の VR ゴーグルなどを装着し、360° どこを見ても現実と同じように視界が変わることで、あたかも自分がそこにいるかのような没入感を感じることができ、視聴を超えた『体験』を提供できる技術。
⑦ クラウドファン ディング	群衆を意味するクラウド (crowd) と資金調達を意味するファンディング (funding) を組み合わせた造語。資金を必要とする企業やプロジェクトが不特定多数の個人から少額の資金を募る手法。専門の Web サイト等で詳細を告知して資金提供者を募集する。



カタカナ用語	解説
⑧ オンライン決済サービス	オンラインショップなどインターネット上での取引時にそのままインターネット上で支払（支払申請）ができるサービス。主な決済手段は、クレジットカード決済・コンビニ決済・代金引換・銀行決済（銀行振込・口座振替・ペイジー・ネット銀行など）・キャリア決済・電子マネー決済・後払い決済などがある。
⑨ モバイル決済サービス	スマートフォンなどのモバイル端末を用いた電子決済サービスの総称。専用のアプリにクレジットカードやプリペイドカードの情報を登録して決済を行う方式や、クレジットカード読み取り機をスマートフォンに接続し、決済端末として利用する方式がある。
⑩ 仮想通貨	特定の国家による価値の保証のない通貨。おもにインターネット上で「お金」のようにやりとりされ、専門取引所などで円、ドル、ユーロ、人民元などの法定通貨と交換することで入手でき、一部の商品やサービスの決済に利用できる。紙幣や硬貨のような目に見える形では存在せず、電子データとして存在し、不正防止のために暗号技術を用い、ネット上の複数コンピュータで記録を共有・相互監視するブロックチェーンで管理されている。このため仮想通貨は「デジタル通貨」「暗号通貨」とよばれることもある。代表格は、サトシ・ナカモトと称する人物の論文に基づくプログラムで管理される「ビットコイン Bitcoin」である。
⑪ Wi-Fi（ワイファイ）	ネットワーク接続に対応した機器を無線（ワイヤレス）で室内のネットワーク LAN（Local Area Network）に接続する技術のこと。
⑫ Bluetooth（ブルートゥース）	デジタル機器用の近距離無線通信規格の 1 つ。数 m から数十 m 程度の距離の情報機器間で、電波を使い、簡易な情報のやりとりを行うのに使用される。
⑬ ユーチューバー	動画共有サイト YouTube で独自に制作した動画を継続して公開している人物や集団の総称。動画再生数の多い著名な投稿者には莫大な広告収入がある為 YouTube の広告収入のみで生活する者も登場している。
⑭ クラウドサービス	データを自分のパソコンや携帯端末などではなく、インターネット上に保存する使い方、サービスのこと。自宅、会社、ネットカフェ、学校、図書館、外出先など、さまざまな環境のパソコンやスマホ、タブレットからでもデータを閲覧、編集、アップ・ダウンロードすることができる。
⑮ SNS（エス エヌ エス）	Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図れるように設計された会員制サービス。
⑯ アカウント	インターネット上の様々なサービスやコンピュータそのものにログインするための権利のこと。
⑰ ID（アイ ディー）	ID（identification アイデンティフィケーション）個人を識別するためのもので会員番号や名前にあたるもの。基本的に変更することはできず、一度作成したら退会するまで同じ ID を使い続ける。
⑱ パスワード	正式の利用者であるかどうかを認証するためにあらかじめ決めた文字列。銀行で例えると暗証番号。

カタカナ用語	解説
⑱ PIN コード (ピン)	個人識別番号。あらかじめ設定した文字の並びと一致した場合にのみ操作制限などを解除することができる。iPhone などにおいてはパスコード (passcode) と呼ばれている。
⑳ 二段階認証	ID・パスワードによる通常の認証の後に、別の要素による認証を加えることでセキュリティを強化しアカウントを保護する仕組みのこと。具体的には Web サービスにおけるログインの際に、知っている (パスワード等)・持っている (スマホ・携帯電話など)・本人である (指紋・顔など) のうち 2 つの要素を組み合わせる本人確認をする認証方式を指す。
㉑ スパイウェア	利用者の文字入力内容や Web アクセス履歴などのデータを気付かれないようこっそり収集し、インターネットを通じて開発元などに送信するソフトウェア。集められたデータは広告事業者や広告主などが広告配信のために利用したり、攻撃者が不正アクセスのために利用したりする。
㉒ アドウェア	コンピュータの画面へ自動的に広告を表示するプログラムの総称。無償で配布されるソフトや Web サイトなどで用いられる。その動作自体は不正なものではないが、半強制的な広告表示の動作がユーザーの不快感をあおることも多く、ユーザーからは忌避される場合が多い。
㉓ ランサムウェア	ランサム (ransom) は「身代金」の意。感染したコンピュータを正常に利用できないような状態に置き、復元のために犯人への金品の支払いを要求するもの。支払い要求に応じなければデータは永久に失われてしまうと脅される。あるいは、支払いに応じない限りは一定時間が過ぎるごとにファイルを削除していくと脅迫するものもある。
㉔ マルウェア	マルウェア (malware) とは、不正かつ有害に動作させる意図で作成された悪意のあるソフトウェアや悪質なコードの総称で、コンピュータウイルスやワーム、トロイの木馬などがある。マルウェアの行う活動としてはデータの破壊やデータの盗難などがあるが、こうした「悪意のある」行動をするソフトのみならず、ユーザーの望まない広告を勝手に出すアドウェアもマルウェアの範ちゅうに含まれる。
㉕ フィッシング詐欺	銀行やクレジットカード会社を装った電子メールを送りつけ、登録情報の確認などの名目で、ID やパスワード、口座番号や暗証番号、クレジットカード番号などの個人情報を窃取するもの。偽のメールに URL を記載し、本物そっくりに作った偽の Web サイトに誘導し、暗証番号などを入力させる手口が知られている。こうした詐欺行為に利用されるメールやサイトを、フィッシングメール、フィッシングサイトと呼ぶ。
㉖ セキュリティソフト	コンピュータを悪意のある第三者の攻撃から守り、あるいは脅威を検知・排除するソフトウェアの総称。代表的なものとして、マルウェアを検知・除去するアンチウイルスソフト、ネットワークを通じて外部から行われる攻撃を防ぐファイアウォールソフトなどがある。
㉗ インフルエンサー	世間に与える影響力が大きい行動を行う人物のこと。その様な人物 (有名人・人気ブロガー・ユーチューバー等) の発信する情報を企業が活用して宣伝することをインフルエンサー・マーケティングと呼ぶ。

Memo

ご参加ありがとうございました。またお会いしましょう！

